

## 最新事例に学ぶ

# 不適切会計とならないための『工事進行基準』の理解と内部監査のポイント

《開催要領》

●日 時● 2015年10月8日(木) 13:30~16:30

●会 場● 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

講師 監査法人アヴァンティア 公認会計士 木村直人氏

**講師紹介**  
早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。公認会計士二次試験合格後、TAC 公認会計士講座専任講師、新日本監査法人、太陽 ASG 監査法人を経て 2008 年に監査法人アヴァンティアの設立に参画、代表社員に就任(品質管理責任者兼 IFRS 専門デスク室長)。監査業務だけでなく、財務デュー・デリジェンスや企業価値評価などの M&A サポート業務も積極的に展開している。その他、日本公認会計士協会東京会知的財産関連研究PT副構成委員長、千葉大学法政経済学部非常勤講師、独立行政法人統計センター外部評価委員なども務める。著書に『IFRS 対応の理論武装〜原則主義という「壁」の乗り越え方』(中央経済社)、その他論文執筆多数。



《開催にあたって》

近時、『工事進行基準』を用いた不適切会計が大きな関心と呼んでおります。本セミナーでは、工事進行基準に関する基本的な知識を概観した上で、不正を防ぐ内部統制の構築、内部監査の際のポイントを平易に解説致します。経理部門、内部監査部門など関連部門の皆様のご参加をお勧めいたします。

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX:03-5215-0951

\*申込書を FAX でご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。  
\*申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

■受講料:1名(税込・資料代含)

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

151614-0606 不適切会計とならないための『工事進行基準』の理解と内部監査のポイント			
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属	職	
E-mail			

■参加要領: 申込書は FAX、または下記担当者宛 E-mail にてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会 HP にてご確認ください。( [TOP] → [公開セミナー] → [よくあるご質問] )

※お申し込み後のキャンセルはお受けいたしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願い致します。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail:kawamorita@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31M Tビル 2F

## 不適切会計とならないための『工事進行基準』の理解と内部監査のポイント

10/8  
(木)

13:30

### 1. 工事進行基準に関わる最近の不適切会計事例

### 2. 工事進行基準の基本

- (1) なぜ工事進行基準で売上計上するのか?
- (2) 工事進行基準の日本での導入経緯
- (3) 工事進行基準ではどのように売上計上するのか?
- (4) どのような取引に対して工事進行基準を適用するのか?
- (5) 工事進行基準に耐えうる社内体制とは?

### 3. 工事進行基準を用いた不適切会計の手口と事例

- (1) 利益水増しにつながる基本的な発想
- (2) 工事原価総額の過少見積りによる利益の水増し
- (3) 工事原価の過大計上による利益の水増し
- (4) 工事原価の付け替えによる利益の水増し
- (5) 受注見込み金額の水増しによる利益の水増し

### 4. 工事進行基準に係る内部統制の構築

- (1) 規程、ガイドラインの整備と周知
- (2) 実効性ある情報伝達経路の確保
- (3) 独立部署による日常的なモニタリング
- (4) 社内評価制度との関係

### 5. 工事進行基準の適用に対する内部監査のポイント

- (1) 入り口部分での適格性チェック
- (2) 前提となるプロジェクト・マネジメントの巧拙
- (3) 予算実績比較のポイント
- (4) 会計以外の情報の分析及び比較検討

※最少催行人数に満たない場合には開催中止となる場合がございます。

16:30

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。